

「遣唐使船」寄港

5月12日(水)8時半、財団法人角川文化振興財団が上海万博にあわせて復元した遣唐使船が、多く市民が見守る中、九州最初の寄港地、北九州港(門司港)に入港しました。

船上で北九州市港湾空港局長や門司みなと祭関係者による歓迎式典が行われ、上海万博の成功と日中間の発展を祈念する北九州市長から上海市長あての親書などが交付されました。

また岸壁では、岡垣国際交流協会主催で遣唐使船時代の中国茶器を用いた茶会が行われ、遣唐使船の寄港を多くの方々と共に歓迎しました。

遣唐使船は、翌13日(木)早朝、集まった市民に見送られながら、博多港に向けて出港しました。



歓迎放水を受ける遣唐使船



歓迎訪船